

IoTシステム

テレビや新聞などでも耳にする事が多くなってきたAI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)。
住宅とAIやIoTは何が関係するの?と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、例えば外出先などで急に天気が変わり家の方角に雨雲が・・・「窓のシャッターを閉めておけばよかった」こんな時、IoTシステムを使ってお手持ちの携帯端末などを操作してシャッターが閉められたら安心ですよね!他にも誰かが帰宅して玄関を開錠したお知らせが携帯端末に届けば「○○くんが学校から帰宅したのね!」など見守りにもつながります。こんな事ができる様になるのが住宅のIoTです。そしてIoT化が進むと今話題のAIスピーカーなどと連動させて「出掛ける準備をして」とスピーカーに話しかけるとカーテンを開けてくれたり、使用していた家電、テレビやエアコンの電源を切ってくれるようになります。住宅の未来から目が離せません!
オリンピックまで、最新の情報をお知らせしていきます。
今年の夏より外出先からスマホで家がコントロールできそうですよ!楽しみですね!

負けてたまるか23 チャリティーゴルフコンペ

昨年、11月22日に毎年恒例のチャリティーゴルフコンペを開催させて頂きました。
今回は、事情により養育を受けられない未来ある子供たちへ明るい家庭的雰囲気をもとに自立に向けた支援をされている、児童養護施設精舎児童学園様へ寄付をさせて頂きました。
ゴルフコンペには92名様にご参加頂き、皆様からの寄付金と弊社からの寄付金を合わせた¥304,000を精舎児童学園様へお渡しさせて頂きました。
弊社は今後も私たちにできる社会貢献を続けて行きたいと思っております。



23

Staff Diary ~町田が好き!編~

皆様にとって町田はどんなイメージでしょうか。私は町田市に住み始めて8年になりますが、引っ越してまず感じたのは、子育てがしやすいということ。ご存じ・・・
緑豊かな自然環境はもちろんのこと、各地区にはスタッフ常駐の子どもセンターが配置。日替わりでイベントプログラムが開催されています。のびのびと子育てするにはとても恵まれた環境ではないでしょうか。また、長時間の預かり保育を実施している幼稚園も多数あり、働くママにとっても、嬉しいですね。
そして、町田市の人には町田が好き!社会人になって転出して結婚・出産を機に再び町田に戻ってこられる方も多く聞きます。地元の企業や商店会も、町田を良い街にしよう!という気概に満ちています。
みな町田のために何とかしたいと考えている。
こういう地元愛が地域を活性化させていくのでしょうかね。
町田が今後どんなふうに進化していくのか楽しみです。 事務員:大川



編集後記

寒かった2月も終わり、少しずつ春の訪れを感じられる季節となりました。
弊社は2月1日より41周年目を迎える事ができました。
これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。
今年は弊社分譲住宅をいくつか予定しております。図師町にはSANWAHAUS+e ZUSHI分譲を予定しております。他にも多数分譲を予定しておりますのでご興味がある方がいらっしゃいましたら、ご紹介頂けますと幸いです。
桜も咲く季節となります。ぜひお友達と展示場へ遊びにいらして下さい。

〒194-0035 東京都町田市忠生 3-7-15

◆新築(分譲・注文)リフォーム

株式会社三和住建

TEL 042-794-3030

◆リフォーム専門

三和株式会社

TEL 042-794-0320



さんわ四季報

春号 2018年 vol.65



2020年 東京オリンピックまで

木造建築が変わる!かも・・・

2年後に「2020年 東京オリンピック」が開催されますね。
新国立競技場は、木材と鉄骨を使用し「和」をテーマとした



オリンピック開催30年後の
都のスタジアム

「都のスタジアム」が建築中です。今まで木造建築は様々な規制

により、中・大規模の建築は建てられなかったのが現状ですが、近年木造建築には多様なニーズが求められています。国土交通省は建築物の範囲の拡大などを盛り込んだ、建築基準法の改正案を3月上旬、国会への提出を予定しています。この法案が国会を通ると、いよいよ以前にもご紹介させていただいたCLT部材や認定材を使用した公共の建物や中・大規模の建築物が木造で建つ事が現実となってきますし、今現在、弊社も医療モール、保育園、介護施設と建築してきました。

戦後日本は植林に力を入れてきました。高度成長期の中、貿易均衡の為に輸入材を使った建築を建ててきましたが戦後植林してきた木は植えられたままになっています。

山は長年床屋に行けなかったかの様に手入れがされずに立ち枯れた状態のままだと、森林の老齢化で成長が鈍ればCO2の吸収量が少なくなります。山の木の枝落としや伐採が計画的に出来る様になると林業も活気づき、たくさん植林された杉の木が木材として活用できれば、辛い春のスギ花粉も減り花粉症の皆様も楽になりますね。

弊社は25年前より木造建築の可能性を考えSW工法に着目し断熱・気密を高めた住宅を目指してきました。今、日本は国土の7割が森林です。今後、木の積極的な活用により温暖化ガスの削減や森を豊にし、維持していく事で地球温暖化防止対策につながると思います。

1964年東京オリンピック以降、建築は「鉄とコンクリート」の時代でしたが、2020年東京オリンピックでは新国立競技場に日本中から杉やアカマツを調達する予定で、温暖化防止のメッセージを世界へ発信することで、地球や人にやさしい時代へとシフトチェンジしていくかもしれません。生活の中にある学校や病院、商業施設などが木で建築出来ているヨーロッパと同じく自然を近くに感じ、人も地球の一員なんだと感じながら生活出来たら素敵ですね。その中に、日本らしい未来型のIoTシステムやAIが導入されたら、夢の世界とされていた建築がすぐそこまで来る気がします。弊社はこれからもお客様と共に、人と環境に優しく省エネな建物を志し、未来の子ども達の時代へつなげて行きたいと思っております。



新しく増える山手線の新駅のイメージ図。新国立競技場と同じ「和」をテーマに木をたくさん活用して建築中の品川新駅。2020年の完成が待ち遠しいですね

